

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 03 交通安全対策の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿  
交通事故が少なくなり、死傷者数が減っています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	人口千人あたりの交通事故発生件数（件） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		30.8	30.8	28.8	26.2	☀ (向上)
評価	前年度と比べ2件減少した。人身、物損事故ともに減少傾向であり、成果としては向上している。今年においても市内の事故発生数は減少しているものの、愛知県下では増加し、ワースト1であるため、引き続き気を緩めないような啓発活動を実施し、交通安全意識の向上に努める。					☀ (向上)
		<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>				

指標	人口千人あたりの交通事故死傷者数（人） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		5.0	5.0	4.5	3.5	☀ (向上)
評価	前年度に比べ0.5人減少(死亡事故0)した。後期目標値には1人たっせできていないため、引き続き交通事故防止に繋がるキャンペーンを実施していく。					☀ (向上)
		<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ (高)</p>				

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 交通安全意識の高揚

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市内で発生した交通事故で、第一当事者が重大な違反をした件数（件） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		13	13	9	10	☀️ (向上)
評価	前年度、後期目標値ともに達成。死亡事故0を達成できたこと、また重傷事故が減少したことが成果に繋がった。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)

## 基本事業02 市民参加の交通安全活動の推進

指標	交通安全活動を行ったことがある市民の割合（%） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		18.9	18.9	18.8	30	☔️ (低下)
評価	前回、基準値と比較して0.1ポイント減少しておりほぼ横ばい。後期目標値と比べると10%以上追いつけないといけない状況である。市民の交通安全に対する意識を高められるような啓発活動及び活動団体の支援を実施していきたい。					☔️ (低下)
						☔️ (低下)

## 基本事業02 市民参加の交通安全活動の推進

指標	交通安全市民団体の会員数（人） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		251	251	224	300	☔️ (低下)
評価	昨年度に比べ27人減少し、後期目標値とは大幅に差がある状況。これは、交通少年団員が年々減少傾向にあることが原因である。					☔️ (低下)
						☔️ (低下)

## 基本事業03 交通安全環境の整備

指標	交通安全環境が改善された箇所数（信号、横断歩道、カーブミラー等）（箇所） 【市民活動課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		14	14	14	15	☁️ (横ばい)
評価	昨年度と同件数であり、後期目標値とはほぼ同数である。市内における危険箇所や市民からの要望を警察署に迅速に連絡調整し、処理している結果であると考えられる。					☁️ (横ばい)
						☁️ (横ばい)

**基本事業03 交通安全環境の整備**

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	事故多発の危険箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【市民活動課】	1	1	0	1	☀ (向上)
評価	基準値、前年度と比較すると1箇所減少し今年度実績は0箇所。これは死亡事故が0県だったことが原因である。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 高齢者の交通事故対策の推進**

指標	運転免許証の自主返納者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【市民活動課】	181	181	302	280	☀ (向上)
評価	前年度値と比較すると、121人と大幅に増加した。また後期目標値も達成している状況である。近年、全国的に高齢者による重傷事故が多発したことにより返納者数が増加したものと思われる。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

**基本事業04 高齢者の交通事故対策の推進**

指標	高齢者の死傷者数（人）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【市民活動課】	59	59	70	50	☔ (低下)
評価	昨年度と比較すると65歳以上の死傷者が11人増加した。逆に64歳以下の50人減少している。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達成度
						▬▬ (中)